

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業N.o.	11-	2
会計	款	項
一般	6	1

事業名	農業委員会経費
政 策	7 生活を支える担い手があり続けるために
施 策	7-1 農業の振興

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	農地所有者、担い手農家	目的（対象がどのような状態になっているか）	意欲ある農業経営体への農地集積、新規就農者及び担い手の確保・育成を図り、経営規模の拡大と耕作放棄地の解消に努めます。
事業内容	農業委員会が取り組む最も重要な業務として位置付けられている「農地等の利用の最適化の推進」業務を農業委員及び農地利用最適化推進委員と連携して取り組みます。 ○農業委員：毎月1回定例会を開催し、農地法に基づく農地転用や売買、貸し借りなどの許認可等の法令業務及び現地確認調査を行います。 ○推進委員：担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、担い手の育成、新規参入の促進など現場活動を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1 人・農地プラン作成数	1			件	↑	5
	2						
	3						
	4						
	5						
				令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）	
全体事業費（千円） A+B				10,330	14,639	11,393	
財源 内訳	直接事業費A			2,410	6,719	3,473	
	うち一般財源			2,334	6,644	3,400	
人件費（千円）B				7,920	7,920	7,920	
内訳	一般職員（人・千円）	1.20	7,920	1.20	7,920	1.20	7,920
	臨時職員（人・千円）	0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町閑与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	人と農地の問題対策について、農業委員会で定めた地区協議会を活用し、各地区における課題や解消方法等の情報共有を図り、地域での活動に繋げる。	③取組の課題	将来を見据えた農地の在り方について、農業委員会が主体となり、地域ごとで「人・農地プランの実質化」に向けた取り組みを積極的に推進する必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	・毎月1回農業委員会定例会を開催。 ※法令に基づく許認可等の業務及び現地確認調査 ・農地利用状況調査の実施（年1回） ・人・農地プラン地域検討会（南大社地区）	④今後の改善計画	・人と農地の問題対策について、農業委員会で定めた地区協議会を活用し、各地区における課題や解消方法等の情報共有を図り、地域での活動に繋げる。